

# とよおかまつり



第 693 号  
 発行人 ● 豊丘村公民館 館長 原 国人  
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会  
 0265-35-9066  
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村  
 (11月1日現在 ※外国人を含む)  
 男 3,354人  
 女 3,391人  
 総人口 6,745人  
 世帯数 2,152戸

## とよまご市場

## サブニューマ

本村 大津陽子

とよおかまつりが十一月十日・十一日に盛大に開催されました。公民館登録グループの発表は、役場駐車場の「とよまつステージ」と、ゆめあるて大ホールの「ゆめあるてステージ」の二か所で行われ、日頃の練習の成果を存分に披露しました。

私の記憶が合っている限り今年で八回目の出演でした。私達の賑やかな演奏にも少し慣れてきてもらえたでしょうか？とよまつステージは外の空気が気持ち良く開放的で、お客さんも手拍子をして笑顔で観て下さり感動のステージでした。ゆめあるてステージは室内なので、お客さんとの一体感があり会場中が一つになれた感じがりました。



サブニューマ

## 頑張れ御嶽海!

本村 松尾恵子

結成十五周年の豊丘パッションは、今年度も広々とした野外ステージで気持ち良く一曲踊らせて頂きました。一曲目に今や信州一のヒーローとなった御嶽海を応援する曲、「頑張れ御嶽海」を発表しました。地元歌手藤和也さんが歌う曲にパッション指導者今井愛子先生が振り付けをしたものです。当日藤和也さんが来て下さり会場が沸き上



パッション体操クラブ

## ゆめあるて市場

## 中国舞踊に魅せられて

華な美 小石峯 霞

私たち華な美は、中国舞踊を三曲発表しました。曲に合わせて衣装も三回変え、とても楽しく踊りました。この発表に向けて、週一回の練習も発表二ヶ月前から週二回に増やして挑みました。緊張もしましたがこのような発表の機会をいただけて大変感謝しています。中国舞踊は身体全体を使って繊細な動きや感情を表現します。そのため身体がひきしまるだけでなく、とても気分がよくなります。中国舞踊は今では私の生活の一部になっています。これからも様々な場面で発表していきたいと思っております。みなさんぜひ応援してください。

秋晴れの暖かい日差しの中盛大に行われたとよまつ。今年のおよこいまつりは県内外から十一チームが参加して盛大に行われました。SHIGEさんの歌に乗せ「豊の郷」がスタート。続いて各チームがその土地の伝説や風景を練りこんだ踊りを披露し場を盛り上げていただきました。私たちのチームは今年新たなメンバーが加わり、豊川市のおいでん祭の総踊り「夢煙火(ゆめはなび)」を踊らせていた。多くの皆

## 豊丘まつりよきい

豊輝星 慧雅

代表 北澤百合子

た。できました。最初は「絶対無理」と言っていたメンバですが、練習を重ねられるようになったときは感動でした。そして今回皆さんの前で披露し、かなり自信がついたようでした。最後の総踊りでは皆が一体となりさらに盛り上げていただき大変楽しく過ごせました。多くの皆



豊輝星 慧雅

## 殺丘

「ずくはどこから湧いてくるのだろう」と、心底思う。私は朝から一言目には「疲れた」疲労がとれんとくちる。休日は休むものと決めこんで、「遊んでくれ」とのしかかってくる子を、横にころがしてダラダラとする。

## ステージ発表を終えて

豊菊会 伊藤むつみ

晴天に恵まれた小さな村の大きな祭り、その名に似合うにぎやかな祭りに、私も幸せな気持ちになりました。私達豊菊会と静永弘会は合同で踊りの時間を長く取る事にしました。ゆめあるて会場は今年「とよCafeエリア」を設けてくれた為、お洒落な雰囲気になり、会場も賑やかになりました。音響・照明もとても良く、もっともって大勢の方が舞台を利用されると思うようになりました。数分間の踊りですが、この歳になつての緊張感もまた必要かなと感じています。踊りにちよつとだけでも興味の有る方、一緒に楽しみませんか？



華な美

最近、子ども食堂を開いている方の講演を聞いた。午前は仕事、午後はボランティアで働いておられる。そもそものきつかけは、食事も困る一人の子どもの出会ったそう。その時何とかしたいと強く思い、この活動を始めたのだ。きつかけ、いや正確には心が動いたから体も動いたのだ。私の親世代は、やらにやらとがんばっている。ずく出す原動力はその気持ちか？やる気はガスコンロの火をつける時と同じだと聞く。少しづつ回して火を大きくする。とりあえず私はとろ火のずくを出して体を動かしていくぞ。

(小池淳子)

# 山本博さん講演会

飯田信用金庫豊丘支店  
大平昌文

という演題で行われました。最初にオリンピックでメダルを獲得してから、「上手になりたい」という思いよりも「メダルを取らなければ」という思いが強くなったため、心が疲弊し成績が下がっていったこと、そこで考え方を転換させることが出来、見事二十年の歳月を経て銀メダルを獲得できた話。この二十年というブランクは世界一の長さである聞き、確かに二十年の間、モチベーションを保ち続けること、あきらめなかったことはすごいことであると感心しました。

高齢化が進む中、これからはいくつになっても健康を維持することが大切であり、それには日頃からスポーツすることが大変有効な手段であり、正に心(体)を動かす

毎年とよおかまつりに協賛し行われている講演会が、十一月一日にゆめあるにて開催されました。今年も講師にオリンピックアスリート種目で銀・銅メダルを獲得した日本体育大学教授・山本博氏をお迎えし「スポーツは健康寿命を延ばさせる」と題して講演が行われました。

後援会には百名超の聴講者が来場され、非常に和やかでかつユーモアを交えられた、聞く者を飽きさせずに話に引き込んでいく、聞きやすく興味深い内容でした。山本先生はお帰りの際、「豊

事や声を出す事によりストレス発散・技術の向上を考えると認知症予防(体力維持・向上によりロコモティブシンドロームの予防)の鍛錬が健康寿命を延ばすことと教えてくれました。

そして、長生きして人生を楽しむには①出会いを楽しむ②環境を豊かにする③心を満たさない(更なる高みを目指すように)④思い込みを縛られない⑤マイナスイネンティティをプラスに考えるといったアドバイスをいただきました。

丘村の豊かな自然が大好きです。また来年も呼んでほしい」と話されていました。五十六歳になられた現在も、東京オリンピックを目指して練習に励んでおられる山本先生の今後の活躍を期待しております。

だり、近くの先生に勧められ若い頃から始めていた短歌に本格的に取り組んだ。老人大学で二年間学び、卒業後も続け現在も最大の楽しみ、生き甲斐となっている。

五年前には「紅茶とレモン」という私歌版を発行し、現在は結社「歌と評論」に所属している。「老いてなほ芽生えゆくもの貴しと史跡めぐりは春の陽の中」は最高傑作の一つである。

他の余暇の過ごし方として趣味、自己啓発などの七種類の会に参加している。ほけな会、ミニデー、公民館学習会等である。また本館を讀むこと、物事を書くことも好きである。諸々のことを綴った「雑記帳は七冊目」になっている。読書は、『老人力』『九十歳 何が悪い』など現在の百合子さんの心境にマッチしたタイトル物が多い。他の楽しみとして旅行がある。五十歳の頃から始め郵便局、農協商工会

などの主催するツアーを主として、北海道から沖縄まで国内の各地、更に中国、カナダなどの外国にも足を伸ばすなどした。京都を旅行した時に、偶然寂聴さんを見かけたことがあり、密かに自慢としている。

また友達との付き合いを大切にされており、友達が弱気な素振りを見せると、親身になり相手の気持ちにより添いつつ叱咤激励し見事に立ち直らせることもある。心の繋がりが重要だと思ふ。若くして亡くなった両親を思うにつけ、健康には殊更留意している。僅かな体調の変化に気を配り早期発見に努めている為、これまで大病を患ったことは無い。好きな言葉は「健康第一 ゆっくり力でのい人生」である。

ぼくは十月十四日に、陣馬形山に登ろうという企画に参加させていただきましう。この日は朝からとても天気が悪く、バスを下りた時には雨も降っていました。しかし、登っている間に天気は回復に向ってくれました。楽しくみんな歩いていたのですが、予定より、



公民館登録グループ活動紹介 第14回  
ふる里を歌う会  
代表 片桐百合



公民館の皆様にはいつも大変お世話様になっております。今回グループ紹介との事ですので簡単にしたいと思っております。

私達「ふる里を歌う会」は平成七年頃からずっと続けている会です。はじめの頃の事は私も入っていないかっ

たのであまり良く分かりません。現在の会員は二十五名です。毎月第二金曜日の夜七時三十分より九時までです。毎回ほとんど全員の人達が出席して下さるので本当にうれしく思っております。良い先生に恵まれ楽しく行っております。発表の場は毎年村の敬老

と聞き、又今までちゃんとした測定をした事がないので初めて参加してみました。

測定内容は、握力、反復横とび、腹筋立ち幅とび、体前屈、シャトルランの六種目でした。握力は左右ともがつかりする程少なく、反復横とびは俊敏さが問われるが動きが鈍く、腹筋は時間内の回数でしたが最後はバテバテ！立ち幅とびは脚力、腹筋のなから遠くに跳べず、でも体前屈は

意外と自分としては良かった。最後にシャトルラン。これは電子音で発せられる「ドレミファソラシド」の音が鳴り終わらない間に二十メートルの距離を走り切らなければ終了となる種目。初めの頃は余裕で走り切る事が出来ていたけれど段々メロディーの速度が速くなってきて遂にリタイア！疲れた。でも気持ちの良い汗をか

## シリーズ「元気な高齢者」⑤ 昔き日の苦さを忘れないで暮らす

### 毛涯百合子さん 九十歳

八王子在住



毛涯家の一人っ子として昭和三年に現在地で生まれました。両親は二人とも病弱なこともあり、百合子さんが六歳の時母親が、十歳の時父親が亡くなりました。母親の葬式の時百日咳に掛かっていて、背負われて墓参りしたことを今でも鮮明に覚えています。小学校に入ると授業参観で親が不在なことで寂しさが募ってくることもあり、自分ほど不幸な

人はいないと悲しんだ。しかし今ではこのことが自分を強めたのだとしみじみ思える。両親が亡くなった後は、祖母に育てられた。絵描きだった祖父の江陵さんは普段は優しくしたが、仕事の間は神経を集中しており、近寄りたがらない雰囲気があった。そんな祖父が七十二歳で亡くなったからには祖母が家事を任切った。高等科を卒業、家の手伝いをしながら青年団に属し、草履作りや様々な活動を行った。

やがて昭和二十二年に高森から三歳上の格次さんを婿養子に迎え結婚した。農協に勤めていた格次さんは、結婚前に被った不慮の事故が原因で四十七歳の若さで亡くなった。境遇の不幸を嘆いている時間を忘れるように、格次さんが亡くなる前から始めていた電器部品の製造に一層励み、以後六十二歳まで二十年近くに亘って継続した。

仕事を退いてからは、書道や木目込人形に力を注い

科を卒業、家の手伝いをしながら青年団に属し、草履作りや様々な活動を行った。やがて昭和二十二年に高森から三歳上の格次さんを婿養子に迎え結婚した。農協に勤めていた格次さんは、結婚前に被った不慮の事故が原因で四十七歳の若さで亡くなった。境遇の不幸を嘆いている時間を忘れるように、格次さんが亡くなる前から始めていた電器部品の製造に一層励み、以後六十二歳まで二十年近くに亘って継続した。

仕事を退いてからは、書道や木目込人形に力を注い

## 山へ行こう

中平 山本着天



やっぱり山に行つて良いこととつてこれだなぁと。そのとき思いました。山の上から見る世界は、本当に最高です。登つてきたときの疲れなんて、ふっ飛んでしまします。また、この景色を見に、どこかの山へ登りたいと思いました。

## 初めての体力測定会!

小園 原 修穂



常日頃時問があれば散歩を兼ねて家の近くをウォーキング？をしている。自分の体力に自信があるかと言えは疑問符がつく。村の体力測定がある

と聞き、又今までちゃんとした測定をした事がないので初めて参加してみました。

測定内容は、握力、反復横とび、腹筋立ち幅とび、体前屈、シャトルランの六種目でした。握力は左右ともがつかりする程少なく、反復横とびは俊敏さが問われるが動きが鈍く、腹筋は時間内の回数でしたが最後はバテバテ！立ち幅とびは脚力、腹筋のなから遠くに跳べず、でも体前屈は

意外と自分としては良かった。最後にシャトルラン。これは電子音で発せられる「ドレミファソラシド」の音が鳴り終わらない間に二十メートルの距離を走り切らなければ終了となる種目。初めの頃は余裕で走り切る事が出来ていたけれど段々メロディーの速度が速くなってきて遂にリタイア！疲れた。でも気持ちの良い汗をか

# 松たけ大豊作

まつたけ観光の近況  
西部 西元敏明

堀越まつたけ観光は今年で創業四十六周年を迎えました。先人が英知を結集し創生した事業は引き継がれ人口三百人足らずの堀越を全国に発信する素晴らしい事業に発展してきました。訪れるお客様は、長年のリピーターを中心に松茸の大ファンです。毎年大勢のお客様に松茸を心行くまで堪能してもらいたいという思いがあります。然し、自然の食材相手の商売は思うようにいきません。昨年は松茸が



お客様をお受けできました。堀越を象徴し地域に活力を与えてくれるまつたけ観光は、近年様々な課題を抱え前途多難ですが、皆で知恵を絞って次世代へ繋げていきたいと思います。

## こちら資料館 ①

### 『神稲』の由来について

九月に行われた「古文書研究発表会」での立正大学四年田口拓海さんの発表の中から、村名『神稲』の由来について紹介します。

田村・林・伴野・福島・壬生沢の五ヶ村は維新後の所屬が名古屋藩、伊那県、名古屋藩と転々とし、明治四年筑摩県の一部となりました。明治七年、旧村五つをもつて一村とする県の方針のもと、これら五ヶ村は合併することになります。

その時、村名を「稲穂村」とする旨飯田支庁(県の出先機関)に届け出ました。ところが、それを受人取った青山道允という役人から、「稲穂」という地名は他にも多数あるので『神稲』としてはどうか」と提案されました。そして、各村に持ち帰り話し合った結果、『神稲』とすることが決定されました。



筑摩県からの合併指令書

写真の明治八年一月一日付けで旧五ヶ村へ下された筑摩県からの合併指令書です。これによって神稲村が正式に発足しました。この書状は額装して資料館二階に展示してあります。是非ご覧ください。

尚、『神稲』の意味については、神に献上する稲、あるいはそれを作る田を指すものと考えられます。(資料館主任 唐澤武彦)

今年、農作物の被害に悩まされたのは二つの大型台風の影響によるものだった。七月二十八日には台風十二号が接近したが通常から逆の、東から西という異例のコースをたどった。被害にあった品目は管内の桃からリンゴまでのほとんどの果実であり、落果は一部地域でおさまったが、スレ傷や生傷となり落果を免れた果実では傷や打撲などの品質低下、格外も増えることとなった。風落果の受け入れ対応は特別必要がなく、

今年、農作物の被害に悩まされたのは二つの大型台風の影響によるものだった。七月二十八日には台風十二号が接近したが通常から逆の、東から西という異例のコースをたどった。被害にあった品目は管内の桃からリンゴまでのほとんどの果実であり、落果は一部地域でおさまったが、スレ傷や生傷となり落果を免れた果実では傷や打撲などの品質低下、格外も増えることとなった。風落果の受け入れ対応は特別必要がなく、

今年、農作物の被害に悩まされたのは二つの大型台風の影響によるものだった。七月二十八日には台風十二号が接近したが通常から逆の、東から西という異例のコースをたどった。被害にあった品目は管内の桃からリンゴまでのほとんどの果実であり、落果は一部地域でおさまったが、スレ傷や生傷となり落果を免れた果実では傷や打撲などの品質低下、格外も増えることとなった。風落果の受け入れ対応は特別必要がなく、

## 台風被害による果樹への影響

J Aみなみ信州 営農部果実課 原 章郎



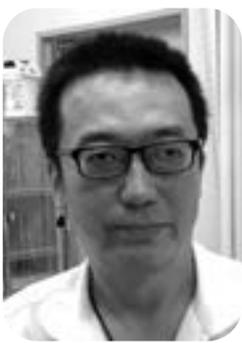
台風によって落下したりんご

被害後の腐敗病対策として防除の徹底を行った。今年一番の被害を受けた台風は、大型で非常に強い二十一号であった。強い勢力を保ったまま上陸した台風二十一号は、列島各地はもちろんだが、みなみ信州にも大きな爪あとを残した。九月四日午後最接近した飯田下伊那地域には暴風や激しい雨による被害が発生し、農業被害も果樹の落下を中心に広範囲に広がった。

J Aでは台風被害の翌日、被害のあった地域では風落果の受け入れについての情報を生産者に渡し、傷があっても廃棄にしまわぬように呼びかけを行った。特に梨の豊水からはじまり、りんごでは晩生種までの品目の栽培者を対象に特別対応を行った。

台風の事前対策は、生産者には通知等を通じて必ず行ってもらおうよう連絡しているが、今年のような大型台風は防風ネットや支柱等が設置されていても防ぐのは難しい。今後は被害に遭いスレや傷ができて特別対応として販売可能なルートをさらに構築していくか、被害に遭わない時期に出荷規模は今年最大となり県内

## 金田(かねだ)医院開院



いた父親の後を継ぎ、以降今年六月まで診療を続けてこられました。しかし吉川先生が昨年六月に閉業され、同地域で医師の空白地となっており、その吉川先生から勧められたこと、一方高羽町での人口減少が懸念され、新地で展開したいとする金田先生の希望とが合致し、今回の移転になりました。

柿外土の吉川医院跡で、七月より診療を始めた金田医院に伺いました。金田先生は小豆島の生まれの五十四歳、四歳の時父親の故郷である飯田市に越して来られました。やがて医師となり平成二十四年に、市内高羽町で開業して

現在柿外土の医院に転居され、金田先生は内科を、奥さんは皮膚科の担当と、御夫婦で診療に当たっておられます。因みに奥さんは京都府生まれとのことです。私的ですが、先生は百八十四cmと大柄、それ故に洋服選びに苦労するとのこと。ただ「運動は苦手」とは意外でした。趣味は先生が自動車の運転、ネットサーフィン(医療関係、電器製品、自動車等の情報検索が主等)、奥さんは料理、手芸などのことです。

「地理がわからず戸惑うと、町からだ寺の前を上りいぼ石のあるいぼ坂―一本松への道でありました。この人は明神洞から上ることになったのです。

私も子ども子供の頃は時々通ったのですが、昼間でも暗い竹やぶの中で狭い道でした。夜のことでは人通りがなかった一人歩くことは淋しかったこと思われます。足元を気にしながら登り、ふと振り返るとその人の後ろに大入道坊主が立っておりました。これはえらいことになった、このまま大入道坊主にやらせてしまおう。一杯二杯と重ねて飲んだら、おびえ病だと言われたそうです。

今にして考えてみると霧の中の大入道は自分で持っている提灯の光が前にあるので、後ろの濃い霧に影が映り大きく見えたのではなにかと思われま。化け物とのみ思込んだ昔の人の話です。(豊丘村民話集・第巻(昭和五十二年)より) 文責 壬生雅穂

## 『豊丘村民話集』より

### 化け物大入道坊主 壬生こ子

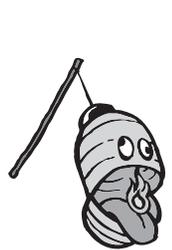
雨降り霧のある夜になると想い出される話を書いてみたいと思います。

昔といっても今から九十年くらい前の話であります。私どもの子供の頃は今と違って店も少なく、近所では買物といえれば近い所では阿島で間に合わせて、飯田まで出かけるということはやむを得ぬ時で年間二、三回であったと思います。大人は草鞋で、子供は草履で歩いて阿島舟渡を渡るか伊久間へ廻るかの道でありました。そんな状態だったので阿島が唯一の取引の場となっておりまして。したがって売買の大部分は阿島で成立

居され、金田先生は内科を、奥さんは皮膚科の担当と、御夫婦で診療に当たっておられます。因みに奥さんは京都府生まれとのことです。私的ですが、先生は百八十四cmと大柄、それ故に洋服選びに苦労するとのこと。ただ「運動は苦手」とは意外でした。趣味は先生が自動車の運転、ネットサーフィン(医療関係、電器製品、自動車等の情報検索が主等)、奥さんは料理、手芸などのことです。

「地理がわからず戸惑うと、町からだ寺の前を上りいぼ石のあるいぼ坂―一本松への道でありました。この人は明神洞から上ることになったのです。

私も子ども子供の頃は時々通ったのですが、昼間でも暗い竹やぶの中で狭い道でした。夜のことでは人通りがなかった一人歩くことは淋しかったこと思われます。足元を気にしながら登り、ふと振り返るとその人の後ろに大入道坊主が立っておりました。これはえらいことになった、このまま大入道坊主にやらせてしまおう。一杯二杯と重ねて飲んだら、おびえ病だと言われたそうです。



文責 壬生雅穂 (豊丘村民話集・第巻(昭和五十二年)より)

# 好天に恵まれた運動会

## 河野区民

### 運動会

第一分館副館長  
大原真一

秋晴れの中、十月二十八日に第五十九回河野区民運動会を開催しました。区民運動会は二年に一回の地区もありですが、河野区では毎年開催し、秋の恒例行事



として定着しています。昨年は雨天で中止だったため、今回は二年ぶりの開催となりました。

ツ井を作るときの平らな浅い容器に変更したことで、前回までのやり方が通用せず、番狂わせがあったように思います。

その他、小学生一般対象の「100m競争」や親子対象の親子ランデブー「おととと」等の種目も行い、多くの方が参加されました。自治会対抗競技は、近年



## 俳句 短歌

対岸を繋ぐ天竜秋の虹  
山寺を喘ぎつ訪へば野菊濃し  
粟食めば遠き日のこと惚ばれむ  
水澄むや水面に風をみつけたり  
台風の下つて外には鳥の声  
露草の下を井水の走る音  
膝ついて手を合せ取る初松茸  
アルプスを盾に台風やり過す  
秋天へ第九の歓喜たたへけり  
ひとり居の庭を自在に石たたき  
針持てば母惚ぼるる秋の雨  
木道の弾や秋日和  
旅戻り鈴虫の夜となりてあし

- 磯部セツ子
- 田中 静
- 片桐 洋子
- 森田 恵子
- 三島 保子
- 三島 里子
- 木下 眞水
- 松岡 照子
- 宮下 公
- 宮下 純子
- 丸山 時子
- 林 恵美子
- 北原 昭子

## ぼらぼら日記

第19記 日向山は彩り豊かな秋のスケッチブック



清流の村として売り出している、豊丘村の美しい渓谷「虹川」も、秋が深まり野田

平への山道が賑わいを帯び、川水域の「日向山砂防ダム湖」があり、最近になってこのダムへの砂の流入が激しく、今では湖の半分を土石で占めてしまった。水を満たしてこそ映り込む色彩の美しさは評価できるものだが、日向山ダム湖の目的は砂防ということでは仕方ないのだから。

2008年の日向山砂防ダム

## ～シリーズ～ 豊丘の自然

No.179

### ミツバアケビ (アケビ科)



二十四節気は太陰暦（太陰太陽暦を含む）を用いていた頃、暦と実際の気候との差異があつて農業などに不便であつたことから生まれた概念（言葉）だと言ふ。

そんな節気の立冬十一月七日が過ぎ、小雪（十一月二十二日）になろうというこの時期に「ミンミンゼミ（東京）、エゾゼミ（長野）の声を聞いた」とニュースで知り驚いて



前置きが長くなったが、今月はミツバアケビを紹介する。実はアケビの仲間には三種類。葉が三枚のミツバアケビ、五枚のアケビ、それらの雑種のゴヨウアケビ、そんなアケビの仲間を春は若芽・若葉のおしし、あえもの（こま・くるみ・かしら・マヨネーズ）で、秋は果実で、旬を感じながら食してほしいものだ。

今年のは紅葉はどうなるのか。夏の暑さと台風の影響が甚大であつたため、葉のこすれによって葉が傷み、眼の覚めるような美しい色にはならないのではないかと心配してしまう。毎年こ

### 柳

（豊丘村川柳クラブ豊柳会）

▼課題「有」 福沢勝美 選

有りがどうゆづつてくれた温い席 西元 峯子  
有難い儲け話の裏に霞 桃沢 健介  
有頂天すぐそこにある落し穴 林 桃子  
軸吟…無い智恵を有るだけしほり句をひねり  
▼課題「役」 互 選

主婦夫一人二役演じ切る 安田 喜子  
役回り最後はお寺と余生 久保ひろし  
大根は役者にもなり足になり 福沢 勝美  
役どころ見ごとに演じ逝く希林 山本 義彦  
▼自由吟 久保ひろし 選

ステーキも刺身もいらん秋の茄子 市沢 照子  
典醒めのまだ続いている貴の乱 原 美風  
軸吟…玄関へ返事だけ先どっこいしょ

## 林区運動会

十月二十一日に、第三分館・第六分館の運動会が、市民グラウンドで行われま

今年の実行委員での参加となり不安でしたが、各係で打合せをし当日を迎える事が出来ました。準備・会場係は、賞品の買出し、会場の準備と本当に大変で、係の人は苦労したと思えます。その事もあり、当日は天候もよく運動会日和となり、各地区競技を楽しんでいました。

運動会で地区の交流ができ当日はケガをする人もいなくて楽しい一日でした。



今年の実行委員での参加となり不安でしたが、各係で打合せをし当日を迎える事が出来ました。準備・会場係は、賞品の買出し、会場の準備と本当に大変で、係の人は苦労したと思えます。その事もあり、当日は天候もよく運動会日和となり、各地区競技を楽しんでいました。

今年の実行委員での参加となり不安でしたが、各係で打合せをし当日を迎える事が出来ました。準備・会場係は、賞品の買出し、会場の準備と本当に大変で、係の人は苦労したと思えます。その事もあり、当日は天候もよく運動会日和となり、各地区競技を楽しんでいました。